

会 議 等 の 概 要

名 称	高校生とのまちかどミーティングについて
開催日時	平成 22 年 11 月 16 日（火）午後 1 時 30 分～午後 2 時 30 分
開催場所	二ツ井高等学校 視聴覚室
出席者	【学校】3 年生 66 人、校長先生ほか 【市】市長、二ツ井地域局長、企画部長、地域情報課長、広報広聴係
案 件	調べ学習したことから「能代市への意見及び提言」など

（主な意見・決定事項等）

調べ学習したことから「能代市への意見及び提言」

各クラスで数時間ほど能代市について調べ学習をおこなった。全員の意見は出せないなので代表 4 人がまとめたものを発表する。

■能代市の町の汚れについて（3 年生）

今回、3 年生に能代市に関するアンケートをとった中に「能代の町にはゴミがあり汚れが目立つという」という意見が多くあった。そのことについて考えを話したい。

まず、町の汚れはゴミがどこからでているか問題だと思う。もし、ポイ捨てをする人が多くて町が汚れているのであれば、能代市民のモラルの問題。そのためにはゴミを捨てないよう意識させる活動や宣伝が必要。能代市民全員で一年に何回か日にちを決め「能代クリーンアップデー」などという名前をつけ、ゴミ拾いのボランティア活動を行えばよいと思う。学校や町内会、企業など足並みをそろえて、街なかや道路、公園、海岸、風の松原などの観光場所も含めすべて行うようにすればよい。ゴミの処理費用や回収費用は市役所になんとかしてもらえるように市で考えてもらう。そうすれば街もきれいになり、市民も参加するので市民の意識も変えることができる。街なかきれいになれば、住む人はもちろん、観光で来た人も能代への印象がよくなると思う。

市長

アンケートのなかにもゴミの意見が目についた。私は二ツ井に住んでいるが、以外と街なかにはゴミがないなと思っていた。街をきれいにしようという意識を持てば今すぐにでもできることがある。市民の皆さまに啓蒙活動を行い、まずゴミを拾い街をきれいにしていく運動を進めていきたい。ちなみに、市では能代クリーンアップ、風の松原ボランティア大会、二ツ井ではふるさとクリーンアップ大作戦、秋の清掃週間、秋の落ち葉一掃運動などをやっている。イベント前のクリーンアップや、イベント時のごみナビボランティアなども実施している。二ツ井高校の生徒にも声をかけるので、みんなで街をお金をかけずにゴミの無いきれいな街にしていきたいと思います。

■バスケの街についての提案（3 年生）

能代市はバスケの街と言われている。それは元々、能代工業高校が全国優勝を 50 回以上達成し、全国的に強豪として有名になったからだと思う。また、日本を代表する有名選

手も出ており、能代工業でバスケットをするために、全国から選手が集まっている。スラムダンクというバスケットボールの漫画があった。「スラムダンク」の漫画の中で「山王工業」という強豪が出ていますが、これは明らかに能代工業がモデルで、漫画の中にまで能代工業の強さがでており僕は感動した。バスケの街として市と協会がバスケットボールを能代市の知名度を上げるために取り組んでいる。能代カップやバスケの街のPR用看板、公園や小学校の校庭へのバスケットリングの設置、能代駅のフリースローやお菓子のお土産までできている。また、フリースロー大会を開いて子供から高齢者までバスケットに親しむためのきっかけづくりをしている。私はさらにバスケの街として盛り上げていくためにいくつか考えてみた。

一つは能代市の小・中・高まですべての学校に必ずバスケットボール部があり、小学校から高校までバスケットができるようにする。できれば男女とも。能代市内の小学校から高校まですべての学校を調べた訳ではないが、少なくとも二ツ井高校にはないので、継続してバスケットをやるためには、すべての学校にバスケット部があればいいと思う。

次に考えてみたのは、能代市内にもっとバスケットリングを増やす。公園や小学校などにはあるが、能代市総合体育館の駐車場や空きスペースにもっと作れば普段からバスケットができる。それを生かして、ストリートバスケの大会をやればいいと思う。できれば、全国から参加者を募集し、日本一のストリートバスケの大会を能代市でやることのできればいい。全国から集まれば宿泊者や観光する人も増えるし、能代カップとストリートバスケの二つの全国大会を柱にできないかと考える。あとはドリブルパフォーマンス大会もいいと思う。小さい子供たちのために、能代カップに地元のバスケットをしている子供たちを無料で招待し、すごいプレーを子供たちに見せ感動してもらい、バスケットを好きになればバスケットを続ける子供たちが増えると思う。

最後に、秋田に今年ノーザンハピネッツができたが、地元のプロのチームができたので、バスケの街能代から、このチームに多くの選手が入れるようになってほしいと思う。そうすれば、もっと地元の人が応援し、見に行く人も増えると思う。

市長

能代工業バスケ部は全国に有名で、バスケの街としてまちづくりを進めている。スラムダンクが大好きで全巻読んだ。山王工業として田臥選手の時代が描かれている。漫画の中では山王高校は1年目で3冠、2年目で3冠、でも3年目のときにウィンターカップで敗れ2冠となり計8冠で終わった。モデルの田臥選手がいた能代工業高校は9冠。作者の井上さんは「だって9冠なんてしたら漫画にならない」と言っていた。それくらい奇跡ですばらしい快挙。バスケの街能代として、能代工業を含む高校バスケ部が強くなければバスケの街を言い続けられない。強くあり続けるためにいろいろ考えている。例えば、ジュニアの育成。小中学生が上手でないと高校生も上手でない。そのため小中高全てにバスケ部があればいいなと私も思う。ちなみに、ミニバスは男子17チーム、女子14チーム、計31チームある。高校は調べていないが中学校は7校のうち、男子5チーム、女子5チームある。能代市役所には国体で優勝した時のメンバーが職員としている。そういう人たちがホームページを使ってバスケの実技指導するという企画も進んでいる。ストリートバスケ、ドリブルパフォーマンスという提案に対しては、商店街の活性化と一緒に考えたい。畠町の広い道路を使い、警察の許可をもらって通行止めにしてバスケパフォーマンスができればいいなと思う。ドリブル競争したり、試合したりといったことを考えていきたい。子どもたちに能代カップを無料でみせるということは、とっても良いこと。実は能代カップはミニバスの試合も一緒にやっていて、仙台など遠くから参加している子どもたちは無料。でも一

般の子どもたちは特典がないので、何席かでもプレゼントできればと思う。バスケットボール協会と相談してみる。ノーザンハピネッツができたが、能代工業出身の選手が能代で行う2試合の招待券をくれた。スポ少の子供たちにプレゼントする。みなさんも応援してください。

■能代市の特産品・ローカルヒーロー・名所町並みについて（3年生）

私は能代市の事についてアンケートをとった中で、街並みについてまとめてみた。

まず、能代市の特産物「能代梨」について、特産物である梨は、利尿作用や解熱作用、のどの渇きや痛みをいやす作用がある果物です。また、消化促進作用もあるので食後のデザートにはぴったり。名産「能代梨」はその優れた品質、独特の風味は全国に出荷され、好評を博していると聞いている。ただ、残念ながらほとんどの人は知っていないので、料理に使ったり大きな宣伝をすべきだという意見があった。

続いて、2004年11月からローカルヒーローとして登場した、「活性戦隊ガンバルジャー」という能代のヒーローがいるが、それはごく一部の人しか知っていない。実際自分も昨日知った。もっとネイガーのようにアピールしなければ有名にならないのもっとアピールを頑張れば、それを目的とした子供や人々がくるようになるので、グッズも考えてほしいという意見もあった。

ほかには能代の名所についてだが、能代の名所を知らない人が多いので、ローカルのCMで名所の風景を流したり、その名所でイベントを開催するなど、全国各地から人が集まるようなイベントで客寄せをすると人々がたくさんあつまり、名所地域もそれを利用していろんなグッズを売り出すことで活性化が進むと思う。その名所に行くためには交通手段が必要となるが、能代には電車やバスがあるが、それには時間差があり、丁度いい時間が必ずしもある訳ではないので、移動手段に困る人が多いと思う。その改善策として、二ツ井町のように無料で自転車を貸し出す制度を作れば交通手段が多くなり、遊びの幅も広がると思う。アンケートの中には電車の時間をもっと増やしてほしいとの事もありました。

最後にシャッター街の意見について意見を述べたい。商店街は夜になると店が閉まってしまい雰囲気が暗く、学校帰りの生徒が不安で通れないという意見があった。その改善策として、商店街を利用して、普通の店ではなく、学校帰りによっていけるような時間にある若者向けのファッション店や喫茶店を作ることでもいい対策になるという意見もあった。

市長

能代梨は約11ヘクタールで作られていて、能代・二ツ井で21農家で作っている。1番の産地は種地区。味がよく評判が良いが量が少ない。値段的が安いときは市場に出ない。産直には売っているので食べてください。量が少ないため、知られていないが、地元にある素材を使つての街おこしは大事なこと。例えば能代梨を使った料理等は、能代の食彩人に梨料理を考えてもらえないか相談してみる。食彩人では、ばらちらしや能代牛弁当などを作っている。檜山納豆を使った料理もあるのでぜひ召し上がってほしい。

ガンバルジャーは観光パンフにも掲載している。民間の人たちが地域を活性化したいと自発的に行っているので、市として応援しながらサポートしていきたい。ローカルCMはAABでCM大賞をやっている。能代も観光だったり地域産業だったり、テーマを変えながら参加して頑張っている。名所でのイベントについては、二ツ井では紅葉まつり桜まつりなどをきみまち阪でやっている。能代公園でもやっている。風の松原では鍋っこ遠足というイベントをやっている。市職員には、この地域に自慢できるものがあるが、市民の皆さ

んや市外の人にはわかりづらいので見える化してほしいと言っている。例えば、我々が白神山地は素晴らしいといっても、どこにいけば素敵に見えるのか。そういうスポットを用意する。田んぼでも畑でも道路脇でも良い。ここから白神山地が一番きれいに見える。この地点から七座ときみまちが一番きれいに見える。夕日はここから見るのが一番きれい。というスポット化することで皆さんに知ってもらおう。そうすることでこの地域の良さをわかってもらう。そういう見える化を進めている。

自転車の無料貸し出しについては、能代駅前ではまちづくり会社が行っている。JRとは年1回、利便性を高めるために話し合いしている。民間会社なので費用対効果を最初に考えなければならず、なかなか思い通りにならないが、皆さんが利用する電車を運行できるようにサポートしていく。部活が終わって二ツ井駅、能代駅、東能代駅に向かう時、みんなが話したり休んだりする場所がないのはそのとおり。喫茶店などがあればいいのは理解できるが、民間企業なので採算が問われる。行政ではできない。ただ、暗い場所、危険な場所、みんなが休める場所、電車が来るまで話せる場所が用意できないか検討する。能代駅周辺はもう一度整備を考えてみたいと考えている。二ツ井駅は能代駅の後になるが、暗い場所、危険な場所が高校から駅に行く間にあるとすれば、街灯などを検討するのでさっそく調べたい。

■就職の求人問題と少子高齢化について（3年生）

現在、私たち3年生は就職の内定や進学の合格を目指し進路活動に取り組んでいる。中でも就職はとても厳しい状況。今年度は41名の就職希望者のうち、県外希望19名、県内希望22名で、その内の26名が内定しているが15名が未内定。1回で内定を得られた人は例年より少ないと先生から聞かされた。2回目・3回目と会社を受験している友達もいる。特に能代市内は2名以上の採用する会社の数も少なく、1つの会社に多くの受験者が集まっている。県内希望から県外希望に変更したり、就職先がなく、進学に希望を変えた人もいる。同じ県北の大館市の誘致企業は今年度は採用者数が70名で、グループ会社では30名の採用予定。この2つの会社で100名ほどの採用予定。能代市にもこのような全国的にも規模の大きい会社を誘致できないものか。その関連会社も増えていくことも考えられるのでメリットはあると思う。毎年求人する可能性もある。そのためには、能代市に企業が進出してくる有利な面が必要。企業への税金を優遇するとか、工場を建てる土地を安く貸し出すとか、工場までの道路の整備や通勤のバスなどの通すとか、会社が進出してくるために何か得になるようなことを考えてみてはと思う。

次に考えたことは、景気が厳しい状況にあり会社は採用を控えていると思うが、能代市に就職先を増やし、若い人を残していかないと、能代市全体が活気が無くなっていく。それに、若い人が残らないと、結婚する人も増えないので、子供も生まれない。少子高齢化がますます進む。そこで就職先をどうやって増やすかということになるが、景気が悪いといわれているなか、そうそう会社が採用を増やすとは思わない。しかしそこをなんとかしなければ能代市には子どもがいないということになる。極端な話だが20人を雇っている会社があり、その20人から1ヶ月5千円ずつ給料をわけてもらえれば10万円は集まるので、会社から2万円上乘せしてもらえば一人分の給料になる。能代市にある会社が多少無理してでも今若者を雇っていかないと、若者の減少が進み、ますます「少子高齢化」の原因にもなっていく。県外就職する人は全員能代市に帰ってくるとは限らない。まず、その時点で能代市の人口は減少する。かといって他の地域から高卒採用で能代市に入ってくる人はそれほど多くはない。これを止めるための方法は、地元の高校から能代市への就職先を増やすしかない。能代市の会社1社につき1名、社員の多い会社であれば2～3名強制的に

採用してもらおう。その代わり、入った人も3年以上は必ず勤めるようにする。とすれば、就職先の数は増えると思う。その間に先輩とか、友達とかに恵まれれば3年以上勤めることも考えらる。ということで、地元就職が増えれば、地元にも活気が生まれ少子高齢化の問題も少しでも解決できるのではないかな。

市長

就職内定していない人15名は大変厳しい状況。市役所でも手助けしたい。校長先生とも話し合いながら頑張る。どうか、まだ内定していない生徒の皆さん、決してあきらめることなく、自分の進む道をしっかりと決めて頂きたいと思います。大館にあるような会社を誘致できればいいと思います。市役所でも企業誘致を頑張っている。市職員が県に出向し、東京で企業誘致。民間の方を採用し企業誘致のため東京で走っている人もいる。現実には景気動向では企業誘致が厳しい。県内各市町村、ほとんど同じ優遇措置を用意している。能代市では用地取得に2億円を限度に取得価格の25%までお金を出す。雇用してもらえるので、条件はあるが雇用助成金を出す。固定資産税を安くするなどして、能代市に会社を出そうと思ってもらえるようにしている。これからも研究していく。ワークシェアリングという考えだが、現実には働いている人から賃金を集めるのは難しい。今すぐできるかは難しいと思っている。市役所は約100人の正職員が減った。5人退職しても1人しか採用していない。9人やめても1人。8人ずつ減る厳しい現実。我々も応援するので頑張ってもらいたい。地元就職については、働きかけしている。希望がかなう門戸を広げてもらう要請を年2回実施しているので、皆さんに頑張ってもらいたい。

校長

現実化している就職の件、地域地域のハローワークでやっているが、全県下で取り組んでもらえれば一回でできる。二ツ井高校には27つの中学から生徒が来ており、大館～潟上まで範囲が広い。学校の都合かもしれないが地域地域だと話を聞きに行けない生徒もいる。能代で手立てをしてもらえればありがたい。今年は本当に厳しいし、来年ももっと厳しいかもしれない。私も二ツ井にいますので、二ツ井を盛り上げてほしいと思う。本校にも生徒がたくさん入るようになってほしい。二ツ井地区の子どもは外にも出るが、沿線からも生徒が入ってくればと思う。

市長

ハローワークの説明会については一か所でまとめてできないか相談してみる。二ツ井地区を盛り上げる施策は、地域協議会等と話し合いながら進める。アンケート結果についてだが、大型店についてが多かった。賛成反対があったことは生徒さんもわかっている。買い物の機会を多くしてほしい。秋田に行く弘前に行っているのでも能代にほしい。大型店ができるとうち市街地がさびれる。利便性を考えれば大型店が近くにほしい。良い悪いという意見はみんなで考えてほしい。みんなが頭にあるのはイオンだと思うのでスケジュールをお伝えして終わりにしたい。核となる一つの大きなお店に個店が連なる予定。計画ではもっと早く出来ているはずだったが、景気状況や反対運動などがあり、今の予定では24年度工事着工し26年度オープンがイオンの希望となっている。